

# DOBOKU



# COLLECTION

## 土木コレクション2024 HANDS+EYES

2024.11.21 [木] - 23 [土] 21日(木)10:00-19:00 22日(金)10:00-19:00  
23日(土・祝)10:00-17:00

新宿駅西口広場イベントコーナー (JR新宿駅西口)

主催 / (公社)土木学会 共催 / 東京都建設局 協賛 / (一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)セメント協会、電気事業連合会、(一社)日本橋梁建設協会、  
(一社)日本鉄道施設協会、(一社)日本道路建設業協会、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(一社)日本埋立浚渫協会、(公社)全国上下水道コンサルタント協会、(一社)関東地域づくり協会  
後援 / 厚生労働省、国土交通省、総務省 問合せ / 公益社団法人 土木学会 土木広報センター TEL:03-3355-3448(9:00-17:00)



土木の日  
DOBOKU DAY  
NOVEMBER 18

新宿駅西口広場で11月の風物詩となった「ドボコレ」。今年の「土木コレクション2024」は4つのテーマについて展示しています。

1つ目が「リニア中央新幹線・東海道新幹線」です。東海道新幹線のバイパス機能の確保や3大都市圏（首都・中京・近畿圏）の一体化によるスーパー・メガリージョンの形成が期待されているリニア中央新幹線の土木工事を写真や動画で紹介します。今年は東海道新幹線が開業60周年を迎える節目の年です。歴史とともに中央新幹線の胎動を感じていただければ幸いです。

続いて、「TEC-FORCE・能登半島地震での活動状況」です。今年1月1日に発生した能登半島地震での国土交通省緊急災害対策派遣隊の活動状況などをパネルで展示しています。大規模な自然災害が発生した場合に派遣されるTEC-FORCEは、被災状況の迅速な把握、被災の発生及び拡大防止、被災地の早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援しています。一般報道などでは見ることができない支援活動の写真は貴重です。

3つ目が「首都高速道路・日本橋区間地下化事業」です。東京・日本橋川の上空に架かる首都高速道路を地下化する事業を中心に紹介しています。1963年の開通から60年以上、都心部の交通を支え続けてきた構造物を更新するため、地下にトンネルを構築し、2040年までに高架橋を撤去するという壮大な事業をパネルで詳細にお伝えします。

そして最後が、「新宿駅」です。1885年の新宿駅誕生から新路線の開業、駅施設の拡張などを経て、現在では世界一の乗降客数を誇る巨大ターミナルへと発展しました。現在、新宿では新たな発展に向けて「新宿グランドターミナル構想」の工事が始まりました。これまでの新宿駅の変遷を振り返りつつ、新たな構想の概要についてご紹介します。

土木コレクション2024を通して、土木の奥深さ、面白さを堪能していただければ幸いです。

## ドボコレ 1 リニア中央新幹線・東海道新幹線



1964年に夢の超特急として開業し、今年開業60周年を迎える東海道新幹線。東京一大阪間の日本の大動脈輸送を担い高度経済成長を支え続け、これまでの利用者は累計約70億人に上ります。その夢はさらに加速し、最高速度時速500kmのリニア中央新幹線に続きます。東海道新幹線のバイパス機能の確保とともに、3大都市圏（首都・中京・近畿圏）の一体化によるスーパー・メガリージョンの形成が期待されており、トンネルやターミナル駅、高架橋など様々な土木構造物の工事を写真や動画でご紹介します。

## ドボコレ 2 TEC-FORCE・能登半島地震での活動状況



大規模な自然災害が発生した場合に派遣される国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」は、被災状況の迅速な把握、被災の拡大防止、早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援します。2024年4月時点で隊員数は約1万7000人（創設当初は約2500人）。創設以来延べ約16万3000人・日を超える隊員が活動しています。今年1月1日に発生した能登半島地震でも、国土交通省の職員を派遣したり必要な資機材を提供したりして対応に当たりました。当時の活動状況を貴重な写真などをメインにご説明したいと思います。

## ドボコレ 3 首都高速道路・日本橋区間地下化事業



東京・日本橋エリアの再開発による新たな街づくりの機運の高まりに合わせ、日本橋川の上空に架かる首都高速道路を地下化する事業が進んでいます。1963年の開通から60年以上が経つ構造物を更新するため、地下にトンネルを構築し、2040年までに高架橋を撤去します。既に江戸橋・呉服橋出入口部の撤去が済み、トンネル本体の工事に着手する段階に入りました。この一大事業を模型やパネルで解説するとともに、首都高速道路のこれまでの土木構造物についてもご紹介します。

## ドボコレ 4 新宿駅



江戸時代、江戸郊外の宿場町であった新宿に、1885年（明治18年）に新宿駅が誕生しました。その後、土木技術の進歩、東京の発展とともに新路線の開業に伴う駅施設の拡張や駅周辺の再開発などが進み、現在では世界一の乗降客数を誇る巨大ターミナルへと発展しました（現在の西口広場は1966年完成）。現在、新宿では新たな発展に向けて「新宿グランドターミナル構想」の工事が始まりました。これまでの新宿駅の変遷を振り返りつつ、新たな構想の概要についてご紹介します。

### 同時開催 東京 橋と土木展

東京都建設局では、土木の日（11月18日）にちなみ、土木の意義や魅力を都民の皆様にご紹介いただくことを目的として、毎年11月に「東京 橋と土木展」を開催しています。12回目の開催となる今年のテーマは「橋の魅力を知る」。



勝鬨橋の跳開模型や聖橋模型、これら当時の貴重な設計図面、隅田川橋梁群を中心とした橋梁ライトアップ映像・写真、近年の橋梁の架設技術の紹介パネル、3都市（東京都、横浜市、大阪市）の橋のパネル、江戸時代や明治時代の橋梁を描いた貴重な浮世絵などの展示を行います。

## ドボコレミュージアム DOBOKU COLLECTION MUSEUM



<https://www.jsce-dcm.com/>

土木コレクションミュージアム（ドボコレミュージアム）では、土木コレクションで展示する貴重な写真や図面、歴史資料の数々をWeb空間上にバーチャルで展示・公開しています。これまでのコンテンツを全て見る事ができます。



# 土木コレクション2024

2024.11.21[木]ー23[土]

21日(木)10:00-19:00 22日(金)10:00-19:00 23日(土・祝)10:00-17:00

新宿駅西口広場イベントコーナー（JR新宿駅西口）

